

1日目 球技会

男子バレー

1位	3年6組
2位	3年4組
3位	3年5組

バレーボール男子の部ではどのクラスも全員で協力し全力で競技に挑む様子が見受けられた。実際に競技に参加した生徒に感想を聞いた。

接戦を制した「3年6組」

本番を迎えることができた」との声がかれた。

バレーボールは仲間とのコミュニケーションが重要な競技となっているため、積極的に声を掛け合う様子が多く見られた。観戦している側からしても迫力があり大いに盛り上がる競技となり、ハイレベルな戦いの中、接戦を制し見事優勝したのは3年6組となった。

(金井 茉優)



↑バレーボール男子決勝戦 スパイクを決める3年6組の生徒



女子バレー

↑バレーボール女子決勝戦 ボールをつなぐ3年6組の生徒

1位	3年6組B
2位	3年4組
3位	2年3組

強力打線で優勝「3年5組」

毎年球技会で最も盛り上がりを見せるソフトボールでは上位の試合になっていくにつれ鋭い打球が多くなり守備も堅くなっていた。決勝戦の3年3組対3年5組の試合では、野球グラウンドに多くの生徒が駆けつけ試合を観戦していた。両チームともに互いに声をかけあったり、励ましあったりする様子が見られたが、最後に見事優勝を掴んだのは強力打線を誇った3年5組。

決勝戦を観戦していた生徒からは「とても良い試合だった。自分が負けてしまった悔しさを吹き飛ばしてくれた」などと感動と興奮を与えてくれた両チームへの称賛の言葉が多くあげられた。アウトカウントの点灯



ソフトボール決勝戦 鋭い当たりを放つ3年5組の生徒

雪辱果たした「3年6組」

上田西高校クラスマッチの恒例行事バレーボールの女子の部では数多くの接戦が繰り広げられ、非常に白熱した戦いとなった。バレーボール経験者が居るチームも多い中で見事優勝を勝ち取ったのは1点を

確実に狙い安定したプレーを見せた3年6組。昨年度のクラスマッチでは惜しくも準優勝だったため今年度は念願の優勝となる。優勝が決まり、生徒たちが笑顔でハイタッチを交わす姿は達成感

ソフトボール

1位	3年5組
2位	3年3組
3位	3年4組

や応援BGMが流れるなど本番さながらの雰囲気での試合が行われた。(樋口 華)

に溢れていた。参加した生徒からは「クラスの絆がよりいっそう深まったように感じる」との声が聞かれ、優勝チーム以外でも試合中に積極的に声をかけ合うなどチームが一丸となり真剣に試合に取り組んでいた。(樋口 華)

安定感で連覇「3年1組」

バドミントンでは3学年それぞれのクラスに別れたトーナメント戦で行われた。観戦席では、クラスメイトの応援に駆けつけた生徒達が男女関係なく拍手などで声援を送っておりクラスがひとつになっていく様子が見受けられた。バドミントンに参加した生徒は「やっぱり先輩方はすごく上手いなと思って。ペアと協力して点数が入った時は本当に嬉しくて思いきりハグしたくなった」と話していた。

バドミントン決勝戦 優勝を決め喜びをあらわにする3年1組の生徒

バドミントン

1位	3年1組A
2位	3年6組B
3位	3年2組A

したプレーを見せ相手の強いスマッシュにも食らいついていた。コロナ禍で大声で名前を呼んでの応援やハイタッチをするなどは控えられていたがその中でも一人一人が輝ける場となった。(重田 陽菜)



2日目 運動会

1位	3年5組
2位	3年3組
3位	3年2組

台風の日リレー 借り人競争 ボール運び クラス・チーム対抗リレー 大縄跳び 綱引き



新種目「台風の日リレー」に参加する生徒



新種目「ボール運び」に参加する生徒

今年度の運動会では3つの新種目が実施された。「ボール運び」は2人1組で、野球バット2本を使ってボールを挟み、落とさないように2人で協力してゴールを目指す競技。実際に競技に参加した生徒からは「次の人にボールを渡すのが難しかった」「2人で息を合わせて運ぶのが難し

全員が楽しめる「新3種目」

「台風の日リレー」は各クラス男子6人女子6人が参加。クラスごと学年で競った。棒を3人で持ち、コーンを回りリレー形式で早くゴールしたチームが勝ち。台風の目では一緒に走る3人の団結力が試される。「コーンを回る時、外側の人だけが飛ばされず上手く周りきるか」「棒を次のペアに渡す時、どのく



新種目「借り人競争」で先生を借りる生徒

で挑むことができ、楽しい競技となっていた。 「借り人競争」は、スタートと共にお題の紙に書かれた人を探し、一緒にゴールする競技だ。お題には「尊敬する人」「好きな人」などが設定された。参加した生徒からは「お題が何か手く分からなかったから緊張した」「お題に当てはまる人を呼ぶ時、叫ばないと聞かれないから恥ずかしかった」などの声が聞かれた。横の繋がりがだけでなく縦の繋がりも増え、参加選手だけではなく、応援者も含めみんなが一体となって楽しめる企画であった。

新3種目はどれも運動能力の有無に大きく依存する競技ではなく、団結力が試される全員が楽しめるものであった。(金井 茉優・嶋田 晴佳・重田 陽菜)

エキシビジョン 部活動対抗リレー

運動会で行われた部活動対抗リレーでは白熱した戦いが繰り広げられた。接戦の中見事最初にゴールテープを切ったのは硬式野球部チーム。勝因については野球部の守屋勇輔さんは「第1走者の僕です。1番最初に走るの緊張しましたが、1位になって、3年間この仲間と野球を頑張ってきたよかったと思います」と答えてくれた。

部活動対抗リレーのために2週間前から野球グラウンドでダッシュの練習をしていたという野球部チーム。強さの秘訣は日々の積み重ねと練習量と答えてくれた。



エキシビジョンとして行われた部活動対抗リレーの様子

「花形」例年通りの3種目



綱引きでは3年生がチームをリードする様子が見られた



参加者の団結力が試される大縄跳び

例年行われている運動会の「花形」3種目も盛り上がった。「綱引き」は、クラスごと男子2人女子2人が参加。3学年混合でハチマキの色ごと競った。3年生が先頭をきって声を掛け合う姿や先生方が競技中掛け声をかけたり、「腰を落とす」としてなどのアドバイスをする姿が見られた。特に競技中それぞれのチームの1番後ろで縄を引っ張っていた3年生男子生徒の、身体に縄を巻き付けてまで頑張る姿が印象的であった。競技に参加していない観覧している生徒達も立って応援していたり、飛び跳ねたり、楽しむ様子が見られた。

「大縄跳び」は回し手2人を含めた15人で3分間跳び続け、連続で何回跳ぶことができたかを競った。実際に競技に参加した生徒は、「練習が1分間と少ない中でも、全員で声をかけ合って協力することができた」「かけ声をかけながら跳ぶこと、団結することができた」など、それぞれに工夫



例年盛り上がりを見せる「リレー」



夫して競技に挑んでいた様子が伺えた。連続で跳び続けることが難しく、回し手も跳ぶ人も、体力の消耗が激しいようだったが、笑顔で跳んでいて楽しそうな様子だった。一致団結することができ、クラスの仲が深まる競技となった。 「チーム対抗リレー」では3つの学年がハチマキの色で4グループに分けられた。学校生活では主に部活動などでしか関わることがないため、3学年が一緒に競技に取り組めるとも貴重な機会であった。参加した生徒は「クラスやチーム

(金井 茉優・嶋田 晴佳・重田 陽菜)